



MARUNI COLLECTION X minä perhonen

2014.10.30(木) open18:00

料金後納郵便

ゆうメール

MARUNI COLLECTION X minä perhonen 2014.10.30(木) open18:00

マルニ木工は2008年に世界の定番を目指し、深澤直人氏デザインの「HIROSHIMA CHAIR」を発表しました。そしてこの秋、MARUNI COLLECTIONにファッションブランドのminä perhonenが新たに開発した経年変化を楽しめるインテリアファブリック“dop”が新たな仲間に加わります。東京デザイナーズウィークでデザインに沸く季節、北陸では51%限定にて“dop”を張ったHIROSHIMAの展示・販売をスタートいたします。

10月30日(木)19:30よりマルニ木工・東京ショールームで行われる「皆川 明」さんのトークイベントをライブ配信にて上映いたします。また当日は、minä perhonenパートナーショップ「kuukukka(Matilde)」さんの洋服・アクセサリに加えて、雑貨店「CHILLING STYLE」さん取扱い、皆川さんデザインのブランケット等もご覧いただけます。秋の夜、51%は少しスペシャルな催しです。ご多用とは存じますが、ぜひご来場賜りますようお願い申し上げます。

10/30

18:00～ 会場オープン(入場無料)

19:30～ 皆川 明さんによるトークイベント(ライブ配信)



[minä perhonen/ミナ ペルホネン]デザイナー皆川 明によるファッションブランド。独創的なストーリー性のあるオリジナルの図案によるファブリックを作ることから服作りを進める。国内外の生地産地と連携し、素材開発や技術開発にも精力的に取り組む。フィンランド語で「minä」は「私」、「perhonen」は「ちょうちょ」を意味する言葉。蝶の美しい羽のような図案を軽やかにつくってきたいという願いを込めている。蝶の種類が数え切れないほどあるように、デザイナーの生み出すデザインもまた、増え続ける。デンマークのKvadrat社をはじめとするテキスタイルメーカーへのデザイン提供や、近年は家具やテーブルウェアなどのインテリアプロダクトも発表している。



[dop/ドップ]両面モルスキンのダブルフェイスによる生地“dop”は、使い込むうちに表面の糸が磨り減ることで、裏面の色が現れてくる性質を持ち、劣化するというのではなく時間をかけて変化し、長く愛用していただけるよう考えられデザインされています。また、“dop”は、日本で織られたインテリアファブリックです。落ち着いた色から暮らしたアクセントになるヴィヴィッドな色まで34パターン。chouchou、tambourineの刺繍を施したそれぞれ34種類の計102種類からお選び頂けます。

maruni

[マルニ木工]1928年設立。それまで手工業の域を出なかった日本の家具づくりに対し、「工芸の工業化」をいち早く進めていきます。1968年に開発したクラシック家具は「日本の洋家具史上最大のヒット」として今も知られ、伝統的な美しさを生み出す良質な家具メーカーとして成長します。そして近年では、マルニ木工が作るべきものとは何か、原点とは何かを探るため、深澤直人をアート・ディレクターとして迎え入れ、「MARUNI COLLECTION」を世界に誇る日本発の家具ブランドとして確立させるため、新たな一歩を踏み出しました。

51%

会場：51% 五割一分 〒930-0077 富山市磯部町3-8-6
お問合せ:076-491-5151 info@5warilbu.jp

